

令和7年9月17日

## 福島大学大学院食農科学研究科2年 工藤萌さんが 第39回日本キッチン・キトサン学会でポスター賞を受賞！

このたび大学院食農科学研究科2年の工藤萌さんが、令和7年9月10日(水)、日本キッチン・キトサン学会大会においてポスター賞を受賞しました。

今回受賞した「日本キッチン・キトサン学会ポスター賞」は、年次大会において優れたポスター発表を行った発表者へ贈られる賞です。工藤さんは、食品や製薬、臨床など様々な場面で利用されている酵素リゾチームの活性を簡便かつ正確に測定する新しい基質の設計と合成、さらに、その機能評価について発表し、見事受賞に至りました。

### 【受賞概要】

受賞者：福島大学大学院食農科学研究科2年 工藤萌

共同発表者：河野はるか、須田大健、田中裕基、服部武史、尾形慎

受賞名：一般社団法人日本キッチン・キトサン学会

第39回日本キッチン・キトサン学会大会 ポスター賞

演題：キトテトラオシルセロビオースの合成と新規リゾチーム活性測定法の開発

### 【日本キッチン・キトサン学会について】

日本キッチン・キトサン学会は、キッチンやキトサンおよびその誘導体に関する研究を推進し、知識の交流を通して本研究分野の進歩に寄与することを目的にしています。本国でのキッチン・キトサン研究は1970年頃から盛んになり、1989年にキッチン・キトサン研究会が発足、1997年に現在の日本キッチン・キトサン学会と名称を改め現在に至っています。日本のキッチン・キトサン研究は世界でもトップレベルのポテンシャルを有しており、大変栄誉あるポスター賞の受賞となりました。

(お問い合わせ先)

食農学類 教授 尾形 慎

電 話：024-503-4982

メール：ogata@agri.fukushima-u.ac.jp



第 39 回日本キッチン・キトサン学会ポスター賞授賞式の様子  
(左：川田俊成先生（日本キッチン・キトサン学会会長）、右：工藤萌さん)